

長期交換学生のアミーさん(松原中RC)とジェシー君(松原RC)が、それぞれの会長・幹事と共に訪問しました。

会 長 の 時 間



会長 落合良生
今日も残暑が厳しく、今年は異常な暑さです。かなり健康に自信のある方も、ぐったりと疲れます。夏バテという言葉がありますが、肉体的な疲労だけで済めばよいのですが、十二分にご留意下さい。今月は、財団、青少年交換の地区委員長会議があります。委員長さんは残暑厳しいですが、よろしくお願い致します。
夏休みが終わり、学校に通う学生の姿と共に若さと活気が戻ってきました。9月は、「新世代のための月間」です。以前は、「青少年活動月間」と呼ばれていました。ロータリーでは、職業訓練所の設置や、身体障害児の養護学校の設立等、青少年育成に深い関心をもって対応していました。現在では、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブにみられるクラブ形態によるものとか、RYLA等のセミナー形式によるもの。国際理解では、青少年交換、財団奨学生、GSE等プログラムが用意されています。松原RCとしても昨年より、各会員の事業所に企業体験、見学等、今年度も実施いたします。又、国際理解として当クラブでは今年度交換学生を受け入れています。また飢餓や貧困の問題は新世代、若者への理解に取り組み、地域社会の役割の中で考えて行きたいと思っています。

幹 事 報 告

幹事 和田一義
* 先週卓話を頂いた日本国際飢餓対策機構の有江様よりお礼状が届いています。また、皆様から頂いた3万円は世界社会奉仕委員会の名で寄付させて頂きました。
* 『社会を明るくする運動』松原地区実施委員会から協賛のお礼が届いています。
* 青少年交換委員会の『交換学生引き受けのお願い』の文書が手違いで事務局からFaxされましたが、奥様に見ていただきたい文書ですので、再度郵送しました。回答は現在17名より頂いています。ご協力頂ける方はお知らせください。

委 員 会 報 告

雑誌広報委員会



委員長 河村忠成
『ロータリーの友 9月号』を皆様のBoxに入れてあります。今年度より簡易装丁になりポケットに突っ込める程に成りましたので、電車の中や一寸した暇にでもお読みください。
【内容紹介】「新世代のための月間」であり、『外国から見た日本の青少年』と題し、日系アメリカ人J.S.ツノダ女史(ハワイ大学上席副学長、コミュニティーカレッジ総長)が日本の学校教育の現状、問題点、そしてアメリカのシステムを紹介しています。日本の戦後教育が「自由と権利の裏には義務と責任があること」「努力に応じて結果に差があるほうが公平であること」を教えてこなかったから日本の大人も子供も自分の思い通りにならないと、すぐにキレると。また、知識だけに偏らない知恵を身につけ生涯学び続けることの喜び、好奇心と創造性を育てること。そして、きちんと責任をとる大人の姿をいつも子供に見せることが大切。最後に、私たちがロータリアンとして警告を発するのみならず、それ以上の行動を起こそう、と結んでいます。

ゴルフ部

部長 河村忠成
* 9月12日の第1回コンペは新しく2名の参加を頂き、15名(欠席9名)で開催します。なお、組み合わせ表は次週例会時に配布します。
* 松原商工会議所創立30周年記念ゴルフコンペが10月4日(金)に島ヶ原カントリークラブで行われます。奮ってご参加ください

社会奉仕委員会



委員長 鵜山昭雄
9月24日(火)例会終了後、『秋の全国交通安全運動 駅前キャンペーン』が行われます。出欠を回覧しますので、よろしくご参加をお願い致します。

卓 話

「RYLA(ライラ)」について

国際ロータリー2640地区
地区ローターアクト委員 岡田安司
【紹介者 西山恵三会員】
今月は新世代月間に指定されています。ライラにつきまして、地区のローターアクト委員会で大変活躍されている岡田(安)会員に卓話をお願いいたしましたところ、快くお受けいただきました。どうか30分ご清聴たまわりたいと思います。

はじめに



本日は西山(恵三)会員のご指名により卓話を担当させて頂きます。今年度地区のローターアクト委員をさせていただいた手前、何かお役に立てることを模索していたところでしたので、この機会にRYLAについてお話ししたいと思います。
一般にRYLAとはRotary Youth Leadership Awardsの頭文字を取ってこういっていますが、ロータリー青少年指導者養成プログラムと同じ意味を指します。Awardsとは賞などの意味を指しますが、ここではプログラムと訳しています。後で出てきますが、3日間のプログラムを達成した研修生には、修了書が与えられます。これがAwardsなのかと理解しています。

RYLAの誕生

1959年(昭和34年)オーストラリアのクィーンズランド州の自治権利獲得100周年記念祝賀会に英国アレクサンドラ王女と同年代の青年達を招きました。この時、王女と同年代の青年達を招いて王女と会う機会をつくろうという計画が持ち上がり、ブリスベーンRCがそのホスト役をつとめました。全豪から集まってきた青年リーダー達の資質の良さに感心したロータリアン達は、この催しを毎年行うことに決め、各クラブから2名ずつの青年を選んでブリスベーンに招待し、1週間、文化・社会・教育プログラムに参加させる事にしました。こうしてRYLAは第260地区(現在の963地区)で生まれたのです。

RYLAのプログラム

クラブまたは地区が主催して、各クラブから推薦された青少年とロータリアンが、2・3日の研修キャンプと集中セミナーを行うものであり、青少年指導者を育成すると同時に、ロータリアンに青少年の考え方を理解してもらう絶好の機会として、非常に意義が深いものです。
RYLAの目的
・年齢によって異なったニーズに対応するために、14歳から18歳までのグループと19歳から30歳までのグループに分けて実施します。
・ロータリアンは年長者の立場から、若者と起食を共にすることを通じて、若者の心の叫びを受け止め理解します。

各国のRYLA アメリカ



韓国



イギリス

